



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第3号

令和6年4月19日

(発行者) 佐古 達哉

♪「命」を大切にできる学校に…

新年度が始まってから2週が経ち、そろそろ新しいクラスや先生たちにも慣れてきた雰囲気が校内に広がりつつあります。そんな中この年度初めの時期には、学校としてどの生徒にも、そして共に生活をする先生方にも共通して理解してほしいこと、大切にしてほしいことが浸透するように力を注ぎます。

令和6年度の年度初め、さまざまな機会を通じて共に学校で生活をする人たちが繰り返し確認をしたのが、今回の記事の見出しにもある「命を大切にできる学校に」ということです。

4月10日(水)には、4時間目の授業を使って「避難訓練」を実施しました。生徒にとっても、先生方にとっても、年度初めのこの時期に、校内の避難経路の確認、避難時の約束事の確認をすることはとても大切なことだと考え、授業開始3日目というなるべく早い時期に設定をしました。今回の状況設定としては、地震発生を想定した屋外避難、そしてさらに津波発生を想定して屋外から高所への避難という状況で行いました。生徒も先生方も、みんなが「どんな勉強よりも大切な取組」という高い意識をもって取り組むことができ、お互いの命を守れる学校づくりに手ごたえを感じることができました。



新年度の学校生活が始まった4月8日(月)からは、生徒の登校時間に合わせて、校区内の特に危険な場所や、交通ルールの順守が求められる場所に、先生方が立って「登校指導」を行っています。特に中学生になって新たに自転車通学が始まった1年生には、「自転車の乗る時の交通ルール」を繰り返し教えながら、安全な登下校の実現に努めています。

また、15日(月)に行った今年度初めての「朝礼」でも、私からの話の中で「自転車の交通ルール」について確認をしたり、令和5年度後期の交安委員会メンバーが「交通安全集会」を実施してくれたりして、全校のみんなが「正しい交通ルール」をきちんと理解できるようにしました。ぜひ、ご家庭でもお子様の登下校や普段の生活の様子について把握をしていただき、交通事故の被害者にも加害者にもならないご指導を進めていただきますようお願いいたします。



【特に徹底してほしい自転車の交通ルール】

※ ご家庭でも確認を

- 左側通行（やむを得ず右側を通行する際は、歩行者や対向する車両が優先）
- 「一時停止」標識の順守徹底（一見危険がなくても必ず停止）
- 並列走行の禁止



15日（月）の授業後には、愛西市消防本部の方にお越しいただき、先生たちが「AED 研修」に取り組みました。この研修は毎年この時期に実施をしていますが、心肺蘇生法、そして AED を使用した対応の実習を、1 年ごとではありますが繰り返し行うことで、いざという時に現実的に「命」を救える学校でもありたいと思いい取組を続けています。ちなみに、「心肺蘇生法」等については、生徒も 2 年生の 3 月に愛西市消防本部で実習をします。先生たちだけでなく生徒も含めて、さまざまな面で地域に貢献できる人材となるよう、こちらの取組も続けていきたいと思ひます。

さらに、15日（月）に行った「朝礼」の私の話の中で、「命を大切にする学校」として、「いじめをしない」学校になるよう、生徒会を中心に伝統的に取り組んでいる「オレンジリボン活動」を引き続き盛り上げてほしいことを皆さんに伝えました。避難訓練や救命救急のような面だけでなく、「心」の安心・安全もみんなでつくり、広い意味で「命を大切にする学校」になるよう、地域・家庭・学校が連携して学校づくりを進めていけたらと願ひます。

